

2023/6/26 (月)

朝の礼拝

聖書 コヘレトの言葉 3章 1節 (旧約聖書 1036 頁)

何事にも時があり

天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

祈り、学び続ける

人類は火星まで飛んで、移り住もうと考えるようになりました。でも、今日がどんな一日になるのかを予め知っている人は誰もいません。もちろん、るんるんで明日からの試験を受けるか否かは、皆さんの努力次第、今日、先生を質問攻めにする努力次第かもしれません。

人は明日のこと、今日のこと、次の瞬間も予めわかりません。だから人の一生は「手こぎボート」を漕いでいるようなものだと言った人もいます。進行方向に向かって背を向け、前は見えないけど、自分が漕いできた軌跡だけを見つめて進むのが人の一生だというわけです。

時間には「生まれる時、死ぬ時」と、生涯には定められた時があると言います。「神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる」(同章 11 節)と言います。人には想像する力、思いやる力、祈る力が与えられているという意味です。

ただ「それでもなお、神のなさる業を始めから終わりまで見極めることは許されていない」(同)と言います。未知なことはわからないと受けとめることです。私たちはふさわしい時に与えられると信じ、祈り、学び続けます。

(しばらく黙想しましょう)

慈しみ深い主よ、変わる事のない恵みによってわたしたちに先立ち、絶える事のない助けによってわたしたちを伴い、何事をするにも初めから終わりまで常にあなたに頼り、あなたの栄光をあらわし、あなたと共に喜ばせてください。明日から試験を受ける生徒、準備する先生方を守り、学び続ける良き機会としてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン